盆提灯・仏壇
仏具・香・香炉
御宮・神具
創業一七〇周年
鎌倉の 温古堂
フーフでナムナム
☎〇四六七(22)七六七六

8月1日号
2019年(令和元年)
第485号
毎月1日発行
(一部税込108円)
朝日新聞の姉妹紙
http://kamakura-asahi.com

鎌倉朝日

© 発行所 鎌倉朝日新聞社☎0467-24-8553 FAX23-1205
〒248-0007 鎌倉市大町２丁目８番１３号 2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉 峰本
八幡宮前・小町通り・十二所神社前
本店 電話 0467-22-4431

10年かけて「鎌倉谷戸の記録」続編完成
埋もれた史跡の魅力発掘

史跡巡りが趣味の市民らで作る「鎌倉の今昔探索の会」が、観光ガイドブックにもない旧鎌倉郊外の隠れた史跡を多数紹介した『(続)鎌倉 谷戸の記録』を10年がかりで完成させ、7月18日、鎌倉市図書館に寄贈した。上下巻、計約430㌻に及ぶ大著だが、カラー写真や新旧の地図などを多用して、地域の歴史を見やすく、分かりやすくまとめている。読み進むと、宅地造成で急激に変化した地域なども浮かび上がってくる。

今回完成したのは、旧鎌倉郊外の大船、玉縄、深沢、腰越などの谷戸(丘陵地が浸食されて谷になった地域)を調査した新鎌倉編。旧鎌倉の谷戸57か所を会員が実地調査し、2008年に発行した旧鎌倉編(上下巻、計約500㌻)の続編にあたる。新旧どちらも、各地域の旧家の住人や町内会長らの話などを参考にまとめた文章の他、現在のカラー写真、新旧の地図や航空写真などを多数収録している。旧鎌倉編は、観光案内マップの元ネタになるなど活用され、郊外を扱った続編の完成が待たれていた。

中央図書館・青木達哉館長(右)に同著を贈呈した岡部美千代さん(左)と青野正宏さん(中央)

完成した『(続)鎌倉谷戸の記録』

鎌倉の今昔探索の会は、定年退職後のシルバー世代を中心とした湘南鎌倉生涯現役の会(湘現会)の分科会として25年前に誕生。旧鎌倉編の作成時は約20人の会員がおり、鎌倉市中央図書館嘱託職員の平田恵美さんの指導を受けて、5年間で製本までこぎつけた。しかし以後、会員の高齢化と減少が進み、新鎌倉編の調査は平田さんと会員5人が主に行った。そのため、完成には前回の倍の10年を要した。

調査メンバーの一人、岡部美千代さんは川崎市在住だが、5年前に会員となり、新鎌倉編の調査に加わった。岡部さんは「堅苦しい郷土史の本ではなく、素人が歩いてまとめた読みやすい本です。鎌倉歩きに活用して欲しい」と話している。

贈呈式では、NPO支援かまくらファンドの助成を受けて作成した新鎌倉編の上下巻と旧鎌倉編の復刻上下巻、計23冊が鎌倉市図書館に贈られた。新旧とも市内5カ所の図書館で閲覧できる。

鎌倉市中央図書館の青木達哉館長は「鎌倉の姿を100年後に伝える貴重な資料。大切にしたい」と語った。

同今昔探索の会は、次のテーマとして庚申塔の調査を開始。新会員を募集している。問合せは湘現会のホームページに。

鎌倉みほとけ紀行 (95)

題字は建長寺派管長 吉田 正道

補陀洛寺・文覚上人像

ギロッとした大きな目で、見得を切ったように斜めに上を向いている荒聖といった風貌で、一度見たら忘れない不思議な魅力のある像が今回の御仏「文覚上人像」です。

材木座海岸からすぐの静かな住宅地にある補陀洛寺。時に源頼朝公が鎌倉入りし、鎌倉幕府草創に力を寄与した文覚が建てた寺として知られています。お盆月のご多用中ご住職さまから文覚上人のドラマティックな逸話をお聞きしました。

「文覚上人」は平安時代末期から鎌倉時代初期にかけて武士として僧と

文 永井宗直
写真 原田 寛

して活躍した人物です。この独特の腕組みをして睨みをきかせている姿から伝わるように気性は激しく乱暴。しかしとても一途で行動力があるが学識はなく、「怪僧」とよばれ多くの伝説を残しました。当時荒れ果てた京都高雄山神護寺の再興に情熱を燃やし、後白河天皇に強訴し伊豆に配流されてしまいます。

しかしその時配流されていた源頼朝に偶然出会い、平家討滅、源氏再興を勧め、頼朝の力となったのです。その他東寺、高野山、東大寺、江の島弁財天など各地の寺院を勧請し、所領を回復、建物を修復しました。

そんな活躍をした文覚が僧になったきっかけは、夫のある袈裟御前と

という女性に一目惚れ、道ならぬ恋をして、誤ってその女性の首をはねてしまったのです。後に出家した文覚は僧となり厳しい修行に入ります。

実はこの像は文覚が和歌山県那智の滝に打たれる荒行の姿なのだそうです。一点を睨みすえ上を見上げる姿は情に訴えかけるものがあります。人間味溢れる文覚上人の温かみが心に沁みました。

一木造。彫眼、素木。像高31・4㎝、年代不詳。

鎌倉の年中行事 8月

▼鶴岡八幡宮のぼんぼり祭 7～9日。7日15時、夏越祭。17時、俳句会。8日17時、立秋祭。9日10時、実朝祭。正午、短歌会。
▼黒地蔵縁日 10日0時～正午、覚園寺。
▼四万六千日詣り10日杉本寺、長谷寺、安養院。
▼閻魔縁日 16日14時、山ノ内の円応寺。
▼鎖大師の施餓鬼法要16日10～16時本尊開帳。14時法要。手広の青蓮寺。
▼鵠沼皇大神宮(烏森神社) 17日人形山車。
▼鎌倉宮例祭 19日16時、前夜祭。20日11時、後鎮祭。21日10時、後鎮祭。
▼玉縄首塚慰霊祭 19日18時、提灯点灯。夕方、玉縄首塚で墓前法要。
▼片瀬諏訪神社例大祭 27日神輿や山車。

プロムナード

第71回鎌倉花火大会が終わって、いよいよ夏本番を迎える鎌倉▼花火大会だけでなく、最近は和装で鎌倉を楽しむ姿が多く見受けられます▼外国人観光客にもコスプレ感覚で大人気のようですが、とても暑そうな印象があります▼今年は運動会が時間短縮になるなど、暑さ対策が必須になっているので、着慣れない装いと気候で熱中症にならないか心配です▼昨年は猛暑の影響で鎌倉の観光客数は1987万人と2・7％減少。しかし海水浴客は17・3％増加したそうです▼和装は暑さが苦手ですが、風鈴、扇子、日傘など、涼しさを演出する日本人の遊び心やお洒落が伝われば嬉しいです。(N)

梅花はんぺん 鎌倉名産
井上蒲鉾店
http://www.inouekamaboko.co.jp/

暑中お見舞い申し上げます
令和元年盛夏
地域のみなさまに寄添う
〈メディカルゆう〉
特定非営利活動法人
ゆう東洋医学研究所
会長 國友靖久
理事長 國友治久
鎌倉市手広4―7―5
TEL 0467(33)5668
介護支援専門員 募集中

暑中お見舞い申し上げます
おひとりお一人を
大切により添い
誠実かつ献身的に
子どもから高齢者まで
支援いたします
地域とつながる
社会福祉法人
鎌倉静養館
☎0467・22・3245(代表)

鎌倉彫会館
歴史と文化、体験と交流の場
伝統工芸「鎌倉彫」教室の他、
教室、ギャラリー、カフェの場所
貸しもあります。
様々な用途にご利用ください。
鎌倉市小町2-15-13
(鎌倉駅東口徒歩5分)
お問合せ ☎0467-25-1500
メール kyoudoukumiai@kamakuraborikaikan.jp
URL http://kamakuraborikaikan.jp

鎌倉の町並と
日本人の心に馴染む家づくり
KAMAKURA STANDARD
戸井田工務店
☎0467-24-7777
www.kamakura-standard.com

会社理念:「人様の家を建てる事は、人様の命を守る事」
地震に滅法強い家「望455」好評販売中
seiko
清興建設株式会社
問合せ先 代表 0467-24-3700
受付時間 9:00～17:00(水・日曜、祝日は、定休日です)

暑中お見舞い申し上げます
正しい税知識の普及を目指して
公益社団法人
鎌倉法人会
会長 梶川精二
鎌倉市御成町17-29
鎌倉商工会議所2F
TEL 0467-22-1131
FAX 0467-22-4600

暑中見舞い申し上げます
大塔宮 鎌倉宮
宮司 小岩裕一

令和元年鎌倉宮例祭
8月19日 午後4時 前夜祭
午後5時～夜祭楽市・6時～納涼踊り
8月20日 午前11時 例祭
午後5時～夜祭楽市・6時～納涼踊り
鎌倉市二階堂154番地
電話 0467-22-0318 FAX 0467-22-3755
ホームページ http://www.kamakuraguu.jp/